

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等国語科指導法			17661	Ⅱ/Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
藤田 昌央	選択	2	公立小学校教員、教育委員会指導主事			

## 授業の到達目標

小学校「国語科」の教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行い、実践する方法を身に付ける。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）、I（知性）の育成を目指す。

## 授業の概要

国語科の目標と内容、授業方法、授業の構造、指導計画等、小学校における国語科学習指導法を把握するための講義を行う。また、教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解したうえで、教科書教材の指導案の作成や模擬授業を通して、国語科の指導力を身に付ける。

## 授業計画

- 1 受講の心構え・授業規律・授業内容についてのガイダンス、授業の見直しと到達目標の確認
- 2 指導要領と国語科の目標・内容(国語科で付けたい力)
- 3 国語科の学習計画、指導法と評価
- 4 知識及び技能①「言葉の特徴や使い方」
- 5 知識及び技能②「情報の扱い方」|「伝統的な言語文化」
- 6 知識及び技能③「書写」|「読書」
- 7 話すこと・聞くことの内容と指導
- 8 書くことの内容と指導
- 9 音読・朗読の指導
- 10 読むこと(説明的な文章)の指導
- 11 読むこと(文学的な文章)の指導
- 12 模擬授業(選択学年)
- 13 模擬授業(選択学年)
- 14 模擬授業(選択学年)
- 15 国語科におけるICT機器の活用(デジタル教科書及び教材の活用を含む)
- 16

## 授業の方法

発表やディスカッション、実際の指導を想定した模擬指導、模擬授

業を多く取り入れる。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

- ①毎時間のふりかえりとレポート（3回）の提出を求め、授業の中でフィードバックを行う。
- ②指導案と模擬授業について、批評とアドバイスをを行う。
- ③評価方法は平常点70%、定期試験30%とする。

## 欠席について

欠席は5点減点し、遅刻は2点減点する。

## テキスト

文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編」東洋館出版  
「国語四上かがやき」光村図書

## 参考図書

必要に応じて、随時紹介する。

## 留意事項

出席と授業態度（模擬授業の準備やレポート等を含む）を重視する。小学校国語科の指導法を身に付けようとする意欲をもって授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
特別支援教育（幼小）			17683	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	2				

## 授業の到達目標

特別支援を必要とする幼児・児童・生徒を理解し、学習上又は生活上の困難を把握し、個別の教育的ニーズに対して、他の教職員・他職種・関係機関と連携しながら組織的に対応していくための支援方法を説明することができる。  
この授業では、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）の育成を目指す。

## 授業の概要

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒への理解を深め、よりよい教育方法や支援のありかたについて理解する。このためには、ライフステージを見通した支援について学習する。また、障害種別ごとに障害特性の正確な理解について学ぶ。これらの基礎的な学習をふまえて、個別の教育ニーズに対応していくための支援方法について、検討していく。

## 授業計画

- 1 ライフステージを見通した支援について
- 2 障害の理解と支援  
発達障害①について
- 3 障害の理解と支援  
発達障害②について
- 4 障害の理解と支援  
知的障害について
- 5 障害の理解と支援  
言語障害について
- 6 障害の理解と支援  
肢体不自由について
- 7 障害の理解と支援  
聴覚障害について
- 8 障害の理解と支援  
視覚障害について
- 9 障害の理解と支援  
病弱について
- 10 障害の理解と支援  
重症心身障害や医療的ケアについて
- 11 障害児保育の基本について

- 12 発達をめざしたさまざまな連携について
- 13 小学校との接続について
- 14 思春期・青年期にむけて
- 15 これからの障害児保育・教育について
- 16

## 授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

授業後に提出する課題60%  
定期試験40%

## 欠席について

1回の欠席で5点減点とする。

## テキスト

特別支援学級はじめての第一歩 坂本裕著

## 参考図書

適宜紹介する。